

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

早期子宮体癌に対するロボット支援下手術の治療成績の検討：単施設観察研究

1. 対象となる患者さん

2010年1月から2022年12月までに当院で子宮体癌IA期(類内膜癌G1,2)と診断され、子宮摘出術、付属器摘出術、骨盤リンパ節郭清術が全て含まれる手術療法を受けた患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 産婦人科 上林 潤也

3. 研究の目的と意義

早期子宮体癌患者に対して当院での開腹手術とロボット手術、腹腔鏡手術をそれぞれ比較して治療成績やその他の副次評価項目について検討することで鏡視下手術導入の妥当性について検討することを目的としています。あらたに導入された腹腔鏡手術やロボット手術の中長期的な治療成績を明らかにすることで今後の治療の指針とすることができます。

4. 研究の方法

5. に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集し、早期子宮体癌に対する手術方法の違いによる生存率や合併症率を算出します。

5. 使用する情報

年齢、身長、体重、既往歴、妊娠出産歴、内服歴、手術実施日、手術内容(手術時間、出血量)、術後合併症の有無、術後入院期間、術後病理検査結果(組織型、摘出リンパ節個数)、術後療法実施の有無、再発の有無、死亡の有無、最終受診日を診療録より収集します。

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2025年12月31日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 産婦人科 上林 潤也

住所：奈良県橿原市四条町840番地

電話：0744-22-3051

e-mail：K165351@naramed-u.ac.jp